



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場会社名 シノブフーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2903 URL <https://www.shinobufoods.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 崇志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部副本部長 (氏名) 長尾 正史 (TEL) 06(6477)0113
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	27,368	7.9	1,327	46.6	1,356	46.3	977	40.3
2023年3月期第2四半期	25,354	3.9	905	8.4	927	9.0	696	17.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 975百万円(40.9%) 2023年3月期第2四半期 692百万円(17.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	79.23	78.80
2023年3月期第2四半期	56.34	55.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,198	14,795	47.2
2023年3月期	30,381	14,031	45.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 14,725百万円 2023年3月期 13,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2024年3月期	—	10.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10.50	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	3.8	2,280	21.5	2,300	20.8	1,600	—	130.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	13,000,000株	2023年3月期	13,500,000株
2024年3月期2Q	689,430株	2023年3月期	1,106,589株
2024年3月期2Q	12,340,867株	2023年3月期2Q	12,366,311株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流増加などにより、経済活動の正常化が徐々に進み、緩やかな回復傾向が見られたものの、緊迫した世界情勢に加え、物価の上昇や金融資本市場の変動リスク、また海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造卸販売しており、当社グループを取り巻く環境は、原材料やエネルギー価格の高止まりや物価上昇などの不安による消費者マインドの低迷など引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画(2021年3月期～2025年3月期)を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人財戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、生協様向けの夕食宅配弁当の取引を拡大するとともに、既存取引先様へは当社の製品ラインナップを幅広く提案し、顧客のニーズに沿った営業活動を展開することで売上高は堅調に推移いたしました。また冷凍事業においては冷凍弁当用に新しい包装機を導入し、需要に合わせた包装形態を取り揃えることで新規取引先様への拡販に繋げるとともに、2拠点体制とするため名古屋工場で冷凍設備の導入に向けた改修工事を行いました。

開発面では「手作り感」や「出来立て感」をコンセプトに内製化をさらに進め、原材料の産地や製法にこだわった商品を開発しております。これにより他社との差別化を図るとともに、原材料の高騰を見据えた商品規格の見直しや新商品の提案を積極的に行いました。

コスト面では、人員不足による労働コストの増加や、原材料やエネルギー価格の高騰等が続いておりますが、これらを吸収するべく主要食材の調達方法の見直し、調理加工品アイテム数の削減や機械化による品質及び生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しに取り組みました。

人財面では、WEBを活用した職種別の会議体や勉強会を継続し、スキルの向上や組織力の強化と均一化に取り組み、また女性活躍推進プロジェクトチーム「WORK+」(ワークプラス)を立ち上げ、従業員の働きやすい環境を整えるとともに、女性リーダー研修などを通じた育成に加え、ライフステージにあわせた活躍の場を提供することで、より組織を活性化し「従業員」一人ひとりがいきいきと働ける職場環境の整備に努めております。

環境面では、プラスチック使用量を削減するため、軽量化した発泡素材容器への切換えを進め、また廃棄物を削減するため、京滋工場に生ごみ処理機を増設し、廃棄物の削減に取り組みました。また本社及び各工場にて、地域の方々とともに清掃活動のボランティアに参加するなど、社会貢献活動に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高273億6千8百万円(前年同四半期比7.9%増)、営業利益13億2千7百万円(前年同四半期比46.6%増)、経常利益13億5千6百万円(前年同四半期比46.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億7千7百万円(前年同四半期比40.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、売掛金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ8億1千7百万円増加し、311億9千8百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、買掛金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ5千3百万円増加し、164億3百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益9億7千7百万円を計上する一方で、配当金の支払1億3千6百万円等により前連結会計年度末に比べ7億6千3百万円増加し、147億9千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは18億8千8百万円の収入(前年同四半期比6億2百万円収入増)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益13億6千8百万円、減価償却費7億2千6百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億8千1百万円の支出(前年同四半期比1億9千8百万円支出増)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出6億9千1百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億4千万円の支出(前年同四半期比3億5千3百万円支出増)となりました。これは、主として借入れによる収入5億円、借入金の返済による支出10億2千6百万円、配当金の支払額1億3千6百万円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、70億9千9百万円(前年同四半期比12億1百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年10月17日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,633	7,099
売掛金	5,519	5,987
商品及び製品	30	30
原材料及び貯蔵品	269	292
その他	209	242
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,660	13,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,809	7,599
機械装置及び運搬具（純額）	2,776	2,696
土地	6,009	6,009
その他（純額）	391	543
有形固定資産合計	16,985	16,848
無形固定資産	131	117
投資その他の資産		
その他	607	585
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	604	582
固定資産合計	17,721	17,547
資産合計	30,381	31,198
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,955	4,357
1年内返済予定の長期借入金	1,892	1,861
未払金	2,284	2,352
未払法人税等	422	491
賞与引当金	330	357
その他	659	665
流動負債合計	9,544	10,085
固定負債		
長期借入金	6,650	6,155
退職給付に係る負債	64	71
その他	90	90
固定負債合計	6,805	6,317
負債合計	16,350	16,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	3,032	2,733
利益剰余金	6,871	7,712
自己株式	△665	△430
株主資本合計	13,931	14,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	18	16
その他の包括利益累計額合計	18	16
新株予約権	76	65
非支配株主持分	4	4
純資産合計	14,031	14,795
負債純資産合計	30,381	31,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	25,354	27,368
売上原価	21,883	23,282
売上総利益	3,471	4,085
販売費及び一般管理費	2,565	2,758
営業利益	905	1,327
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	32	38
その他	12	13
営業外収益合計	45	51
営業外費用		
支払利息	21	20
その他	2	2
営業外費用合計	23	22
経常利益	927	1,356
特別利益		
新株予約権戻入益	9	24
特別利益合計	9	24
特別損失		
固定資産除却損	7	13
特別損失合計	7	13
税金等調整前四半期純利益	929	1,368
法人税、住民税及び事業税	210	380
法人税等調整額	21	9
法人税等合計	232	389
四半期純利益	697	978
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	696	977

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	697	978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整額	△4	△2
その他の包括利益合計	△4	△2
四半期包括利益	692	975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	692	975
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	929	1,368
減価償却費	741	726
株式報酬費用	13	25
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	26
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	3
受取利息及び受取配当金	△32	△38
支払利息	21	20
固定資産除却損	7	13
新株予約権戻入益	△9	△24
売上債権の増減額 (△は増加)	△42	△468
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2	△23
仕入債務の増減額 (△は減少)	165	401
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△58	97
その他の資産の増減額 (△は増加)	△150	△42
その他の負債の増減額 (△は減少)	△46	97
小計	1,518	2,185
利息及び配当金の受取額	32	38
利息の支払額	△21	△20
法人税等の支払額	△301	△347
法人税等の還付額	58	32
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,286	1,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△461	△691
無形固定資産の取得による支出	△20	△0
その他の支出	△2	△0
その他の収入	2	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△483	△681
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	800	500
長期借入金の返済による支出	△1,042	△1,026
自己株式の取得による支出	△0	△76
配当金の支払額	△142	△136
非支配株主への配当金の支払額	△1	—
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386	△740
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	416	466
現金及び現金同等物の期首残高	5,482	6,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,898	7,099

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。